



漂着した流木（令和6年11月5日撮影）

## 令和6年度（4月～11月）の洪水警戒体制について

令和6年度は8回洪水警戒体制に入っています。ダムが完成した平成2年4月以降、年間の洪水警戒態勢入り回数の平均は8.9回であり、令和6年度は平均的な年でした。令和6年度の特徴は以下の4点です。

### 御部ダムが完成した平成2年からの34年間のデータと比較した特徴

- ① 4月に洪水警戒体制入り（平成15年以来21年ぶり、34年の間で3回目）
- ② 9月に洪水警戒体制入りしなかった（平成21年以来15年ぶり、34年の間で5回目）
- ③ 11月に洪水警戒体制入り（平成27年以来9年ぶり、34年の間で4回目）
- ④ 11月に警報活動（サイレンと放送により河川水位急上昇の恐れがあることを知らせる）を行ったこと。（34年間で初めて）

令和6年11月1日から11月2日にかけての降雨において、御部ダムでは、流域平均累計雨量180.2mmを観測し、この雨によりダム貯水位が標高90.09mから標高101.40mまで上昇しました（24時間で水位が約11m上がりました）。また、ダムへ流れ込む水の量は最大で毎秒110トンに達しました。この雨による出水が、令和6年度では一番規模の大きなものとなりました。季節によらず大雨への備えが必要となってきたように感じます。日頃から天気の情報に注意し、雨へ備えましょう。

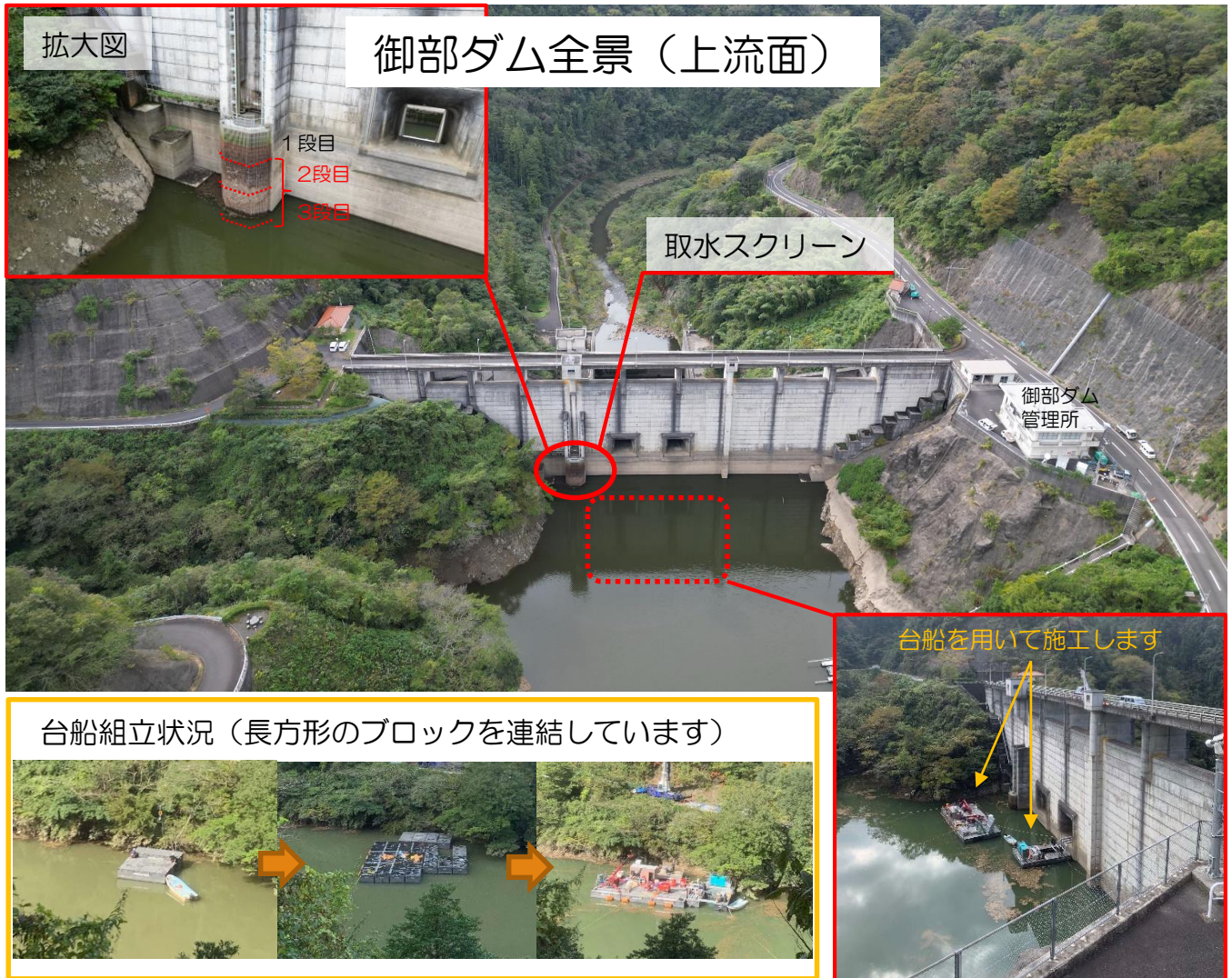


写真：11月1日から11月2日にかけての御部ダム貯水位の変化

# 取水スクリーンの更新工事を実施しています！

現在、御部ダムでは「取水スクリーン更新工事」が進行中です。御部ダムは建設から30年以上が経過し、ダム上流貯水池から放流管にゴミなどが流入するのを防ぐための「スクリーン」は長年の使用により鉄の腐食が進行してしまいました。

そこで、このスクリーンをFRP（繊維強化プラスチック）に更新することにいたしました。FRPは腐食しないので、鉄よりも長持ちし、今後の管理にかかる費用が少なく済みます。スクリーンは令和6年度から令和8年度にかけて更新を行う予定です。（スクリーンは全部で高さが18mあり、3mごとに段が分かれていて、全部で6段あります。**令和6年度は2段目、3段目を取替えます。**）施工中はご迷惑をおかけいたしますが、スクリーンはダム下流へゴミなどを流さないために重要な設備ですので、更新工事の実施にご理解・ご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。



## 【編集後記】

最近の気候変動に伴う異常気象が増加する中で、ダムの役割はますます重要になっています。引き続き、ダムの安全運用に努めてまいります。これから数年かけて順次設備の更新工事も行っておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【発行】 浜田県土整備事務所 ダム管理第三課 0855-29-5678  
御部ダム管理所 0855-35-1421  
御部ダム自動音声案内 0855-35-1316